



## 平成28年度

## スーパーグローバルハイスクール等6校合同

## カンボジア研修研究会&成果発表会を開催

平成29年1月7日・8日、三重県立四日市高等学校 多目的ホールにて、カンボジアでの海外フィールドワークを実施している6校（昭和女子大学附属昭和高等学校、西大和学園高等学校、岡山学芸館高等学校、広島女学院高等学校、和歌山信愛高等学校、三重県立四日市高等学校）が一堂に会し、「カンボジア研修研究会および成果発表会」を開催しました。本会は、平成27年度から始めて2年目の開催となります。

### グループディスカッションとプレゼンテーションを通じて得た出会いと気づき



本年は各校のカンボジア研修に参加した経験を共有し、様々な立場の講師先生から多様な視点の学びを踏まえ、参加者が将来どんな貢献ができるかを考えることで、新たな第一歩を踏み出すきっかけを得ることを目的としました。



1日目、幹事校である四日市高校 和田欣子校長からは、本会開催の主旨を参加生徒や教員に伝えました。その後、成果発表会では、各学校におけるカンボジア研修の目的、学習内容について具体的に紹介され、さらにカンボジアにおける課題解決に向けて提言する学校もあり、各校特色のある発表が行われました。



このあと二日間に渡る研修研究会では、グループに分かれてディスカッション・プレゼンテーションを繰り返し行いました。はじめにテーマ「カンボジアでの体験共有」として、各生徒の体験等を情報交換して確認しました。2つ目のテーマ「カンボジアの魅力（強み）と課題とは何か」について、新メンバーでディスカッションを行いました。カンボジアの魅力は農業、若者が多い、笑顔、自然、歴史等といった意見がでた一方、抱える課題として、インフラ、教育、衛生面、汚職などが挙げられました。



3つ目のテーマは「豊かな社会とはなにか」。グループごとに「豊かな社会」の定義について発表しました。「可能性の充分ある社会」「笑顔のある人が多い社会」「すべての人が自分の生活に満足している社会」「それぞれの思う豊かさを追求できる社会」など、バラエティに富んだ回答が上がりました。

4つ目のテーマは「もしもわたしたちがカンボジアの〇〇なら、豊かな社会を作るためにどんな課題のために、何をするか」。グローバル人材として何をすべきかを考え、各グループで活動計画を作り、意見交換しました。

最後に、「研究会で得た気づき」について、一人ひとり全員堂々と自信を持って述べていたことが印象的でした。

## カンボジアで挑戦をしている企業、NPOの代表からの講演



日本カンボジア経済同友会理事 KURATA PEPPER Co.Ltd 代表 倉田 浩伸 氏から「カンボジアでの挑戦～カンボジアの魅力(強み)をどうとらえ、社会の課題に取り組んでいるのか」というテーマで、「魅力とは外から見て初めて見つかるものであり、価値観の多様性を知り尊重することが大切、「知足者富」(足るを知る者は心が富む)、自分の欲求の2割くらいが満たされれば満足、と考えることで周りも幸せになる」とお話をいただきました。



そしてNPO法人 ARUN Seed 代表理事 功能 聡子氏からは「カンボジアでの挑戦～カンボジアの魅力(強み)をどうとらえ、社会の課題に取り組んでいるのか 社会的投資家として」というテーマで、経済的な利益を生み出すだけでなく社会問題を解決するという、格差解消のための新しい手法である「社会的投資」のお話をいただきました。

お2人の講演に、多くの生徒が感銘を受けました。

## パネルトーク キャリアセッション



テーマ「豊かな社会を目指して、どう世界とかわかってきたのだろうか」について、5名の講師(倉田浩伸氏、功能聡子氏、三牧純子氏、上田敏博氏、神田すみれ氏)から「キャリアへの道のり」「ワークライフ」「高校生へのメッセージ」の3つの観点でセッションを行いました。生徒からは「高校生としてどのようなことができるか」など、講師に対して積極的な質問があり、講師からはエピソードを交え、グローバルに展開する熱い思いが伝わりました。

## 二日間の研修を通じた学び



2日間の研修を通じて、生徒たちは、カンボジアの豊かさのみならず「豊かさ」について様々な観点から考察を行い、経験から確信へと考えを深めました。

また、5つのテーマでディスカッションを行う中で、新たな視点を心得、多様な価値観の存在や面白さを知るとともに、グローバル人材に求められる多様な価値観への理解や主体的なコミュニケーション態度の習得等、各自の取り組むべきテーマを見出しました。

### ～参加した生徒からの感想～

プレゼンは楽しむもの。ポジティブな発言が議論を発展させる。他人は全く新しい意見を持っている。

一人ひとり意見が違い、共存していく大切さに気付いた。また、人の意見を受け入れながら自分の意見をしっかり持つことは大切だと思った。常識を壊すことは大切だと気付いた。

自分の視点と違う人の意見を聞くと心にグッときた。初対面の人たちからの刺激は、自分の意見をよりよいものにしてくれる。

グローバルだけでなく、ローカルの大切さ。日本国内でも価値観も文化も違うという発見。

生きることへの安心感は豊かさにつながると思う。